

指定管理者モニタリング チェック表

評点の基本的考え方	点数
優れている	4点
できている	3点
概ねできている	2点
改善が必要である	1点

令和6年度

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評点	自己チェック	評点	コメント
1.運営	1	病院の利用者数の状況はどうか(入院収入、入院延患者数、入院診療単価など)	4	【令和6年度の実績について】 6年度の入院収入は84.9億円で、5年度の75.9億円から増収になったが、1日当たりの入院延患者数は371.4人と、5年度の374.8人からわずかに減少した。 なお、入院診療単価は、5年度の5万5,613円から7,232円増加し、6万2,845円となった。 【令和7年度に向けて】 開設当初からの目標であった急性期充実体制加算の施設基準は6年5月から算定を開始できたが、7年度も引き続き、救急患者の受入れ強化や早期退院に向けた取り組みに加え、手術実績の向上を目指し良好な病院経営をさらに推し進める。	4	【市の評価】 診療単価、1日当たり患者数ともに経営強化プランの目標を超えている。また、診療報酬改定にも適切に対応しており、評価している。 【指定管理者に対する意見】
	2	病院の利用者数の状況はどうか(外来収入、外来延患者数、外来診療単価など)	4	【令和6年度の実績について】 6年度の外來収入は23.9億円で、5年度の22.1億円から増収になるとともに、1日当たりの外来患者数も640.9人と、5年度の608.8人から増加した。 これらにより、外来診療単価についても、5年度の1万5,003円から413円増加し、1万5,416円となった。 【令和7年度に向けて】 総合医療センターの広報誌やホームページを活用し、医師の紹介などを通じて地域医療機関との連携をさらに強化し、紹介率と逆紹介率の向上を図る。	4	【市の評価】 診療単価、1日当たり患者数ともに経営強化プランの目標を大幅に超えており、評価している。 【指定管理者に対する意見】
	3	積極的な救急医療の提供ができているか(救急車搬送患者受入数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 6年度では、12,274件の救急及び夜間休日外来の患者を受け入れており、月平均は1022.8件で、5年度の11,681件を上回った。 ② 6年度の救急搬送の応需率は92.7%で、5年度の89.4%からさらに改善することができた。 【令和7年度に向けて】 救急隊との連携を迅速にしながら、救急医ホットライン(医師専用直通回線)の円滑な活用に努め、6年度における高い救急搬送の受入水準を維持する。	4	【市の評価】 前年に引き続き救急応需率は高く推移しており、良好な救急医療が提供できていると評価している。特に川西救急の応需率が向上していることから、市民が安心できる医療サービスの提供に貢献していると言える。 【指定管理者に対する意見】
	4	小児医療が適切に提供できているか(患者受入数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 6年度の小児科は、常勤医師7人と非常勤医師4人の11人体制で診療を行い、発達障害専門外来でも土曜日の予約診を実施した。 ② 小児科における6年度の月平均の入院患者数は202.6人(5年度は220.8人)で前年度を下回ったが、外来患者数は989.2人(5年度は882.5人)で前年度を上回った。 ③ 川西市内中学2年生ピロリ菌検査事業に継続して協力した。 【令和7年度に向けて】 7名の常勤医師により、充実した診療体制を維持するとともに、小児科医ホットライン(医師専用直通回線)を通じて、紹介患者の確保を継続する。	4	【市の評価】 小児科の外来患者が増加傾向にあり、小児医療の適切な提供が図られている。また、ホットラインを運用していることも評価している。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	5	周産期医療が適切に提供できているか(分娩件数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 6年度の産婦人科は、常勤医師5人と非常勤医師4人の9人体制で診療を行った。 ② 6年度の産婦人科における分娩件数は625件で、月平均52.1件は、5年度の51.3件を上回った。うち無痛分娩は146件で月平均12.2人は、5年度9.3人を2.9人上回った。 【令和7年度に向けて】 引き続き無痛分娩の安全な実施に努め、里帰り出産の案内やFAQのホームページ掲載など、市内唯一の分娩施設としての役割を持続し、無痛分娩を含む分娩件数の増加を図る。	4	【市の評価】 昨年度と同水準の分娩件数を維持しているほか、無痛分娩の安全な実施に取り組むことができている。 【指定管理者に対する意見】
	6	適切ながん医療を提供できているか(化学療法患者の受入数など)	3	【令和6年度の実績について】 がん手術件数:441件(月平均36.75件)(5年度月平均34.39件) 外来化学療法件数:1,534件(月平均127.8件)(5年度月平均108.9件) 【令和7年度に向けて】 開業医への訪問や返書管理を徹底し信頼関係の向上に努めるとともに、総合医療センターの広報誌やホームページを活用し診療科案内を充実させることで、引き続き紹介患者の獲得に努める。	3	【市の評価】 外来化学療法法の患者数が増加している。 【指定管理者に対する意見】
	7	適切な急性期脳卒中医療への対応ができているか(脳卒中患者の受入数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 脳神経外科手術件数:193件(月平均16.1件)(5年度月平均15.7件) ② 脳神経外科医ホットライン(救急隊や開業医と医師を繋ぐ直通回線)を通じて、紹介患者の獲得に努めている。 ③ 7階西病棟内にSCU(脳卒中集中治療室)施設基準を満たした3床を確保し、適切な急性期脳卒中診療に努めている。 【令和7年度に向けて】 脳神経外科医ホットラインの運用を継続するとともに、新たに脊椎疾患の患者獲得のための方策を実施する。	4	【市の評価】 SCUの施設基準を維持していることを高く評価している。また、ホットラインを活用することにより、治療開始までの時間を短縮し、迅速な医療対応を実現している。 【指定管理者に対する意見】
	8	心疾患に関する医療体制の充実を図っているか(心臓カテーテル手術件数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 心カテ件数:193件(月平均:16件)(5年度月平均15.5件) ② 循環器内科医ホットラインを通じて、紹介患者の確保に努めている。 【令和7年度に向けて】 循環器内科医ホットラインを通じて、引き続き、紹介患者の獲得に努めていく。	4	【市の評価】 ホットラインを活用することにより、治療開始までの時間を短縮し、迅速な医療対応を実現している。 【指定管理者に対する意見】
	9	糖尿病の診断、患者教育、糖尿病合併症の集学的治療を行えているか	3	【令和6年度の実績について】 糖尿病合併症管理料算定件数:37件(月平均3.1件)(5年度月平均4.4件) 糖尿病透析予防指導管理料算定件数:29件(月平均2.4件)(5年度月平均4.8件) 【令和7年度に向けて】 糖尿病患者会(川西さくら会)の運営を通じて、糖尿病についての正しい知識の普及啓発を継続する。	3	【市の評価】 糖尿病患者に係る集学的治療が行えている。また、糖尿病患者会を通じて、糖尿病の予防などに尽力している。 【指定管理者に対する意見】
	10	認知症を合併した患者への対応ができているか	3	【令和6年度の実績について】 大学医局から週3回精神科専門医(非常勤)の派遣を受け、病棟コンサルタントとして認知症を合併した入院患者に対応した。 【令和7年度に向けて】 認知症ケア加算の継続に向け、精神科常勤医及び認知症認定看護師の配置に努めていく。	3	【市の評価】 病棟コンサルティングとして精神科医が在籍することにより、主治医の負担軽減に寄与していると評価している。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	11	その他何か特色ある医療に取り組んでいるか	4	【令和6年度の実績について】 第二協立病院のARTセンター（生殖補助医療）と綿密に連携をとり、当センター産婦人科・泌尿器科での不妊診療を継続した。 【令和7年度に向けて】 6年度に引き続き、男女とも不妊について気軽に相談できる赤ちゃん希望相談（無料）を継続する。	4	【市の評価】 第二協立病院のARTセンターの連携機関として機能しており、不妊治療という時代のニーズにあった医療を提供できている。 【指定管理者に対する意見】
	12	地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの構成員として、地域における医療機関相互間の機能分担、連携を進めるなど、その役割が果たしているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 患者支援センターが中心となり、川西・猪名川地域における回復期及び慢性期等の医療機関と密に情報交換を行うなど、積極的に患者の転院調整を行った。 ② 川西市保健センターでの乳がん、大腸がん、前立腺がん健診で要精査になった方がスムーズに受診しやすい体制を構築した。 ③ 大腿骨頸部・椎体骨折地域連携バスの運用を開始し、年3回連携会議を開催している。 ④ BCPの策定が義務づけられている介護施設に対して、地域医療連携推進法人を通じて感染管理認定看護師が協力した。 【令和7年度に向けて】 断らない医療提供を引き続き行い、誤嚥性肺炎や尿路感染症など新たな地域連携バス運用に向けて取り組んでいく。	4	【市の評価】 地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの中心的な役割を担う医療機関として、地域医療等の向上に努めている。 【指定管理者に対する意見】
	13	市の事業において公立病院の協力を必要とする場合は、可能な限り協力しているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 川西市内中学2年生ピロリ菌検査事業に協力した。 ② 幼児の眼科検診に視能訓練士を派遣した。 ③ 市からの依頼を受け、市の安全衛生管理を行うための産業医の派遣を継続した。 ④ これまでに引き続き、市から産後ケア事業を受託するとともに、今後の事業拡大に向け、調査・研究を行った。 【令和7年度に向けて】 居住地に関わらず、県内（または市町村を越えて）の産後サービスを必要とする方を受け入れるため兵庫県産後ケア事業の集合契約を締結した。引き続き市の事業において、公立病院としての役割を果たしていく。	4	【市の評価】 中学2年生ピロリ菌検査事業をはじめとした市の事業に協力することができている。 【指定管理者に対する意見】
	14	地域医療支援病院として、地域医療に対する啓発活動への取組みが適切に行われているか また、PSC(患者支援センター)は、医療相談・通院支援を含めて、適切に機能できているか	4	【令和6年度の実績について】 ① PSC(患者支援センター)において、各種相談体制の充実を図り、回復期、慢性期医療機関及び在宅医との連携強化を図った。 ② 紹介率は60%以上、逆紹介率は100%以上で推移しており、紹介件数は前年度より増加した。紹介者で対応できなかった症例を振り返り、診療科へ適宜フィードバックした。 ③ 入退院支援看護師が転院支援・調整にも介入する体制を構築した。 ④ 医療従事者向けに医療連携勉強会(3回)をはじめ、ICT研修など計13回行った。また、医療機関向けに患者支援センターだよりを年4回発刊した。 【令和7年度に向けて】 ① 連携会議、勉強会、懇親会、訪問などで回復期、慢性期医療機関及び在宅医との連携を継続する。 ② 当院へより紹介しやすくなるツールとして、診療案内を作成する。	4	【市の評価】 PSCが中心となって、地域の医療機関との連携ができている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
	15	来院した患者が円滑に診察を受けられるよう、患者動線や施設内表示に配慮できているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 外来患者の動線や施設内の問い合わせの分析などを行い、効果的な施設内表示を加えるなど、改善を行った。 ② 入院患者に対しては、PSCにおいて、事前に入院時のオリエンテーションを行うなど、薬剤師や管理栄養士への相談も随時実施した。 【令和7年度に向けて】 外来患者の動線や施設内の問い合わせの分析などを行い、効果的な施設内表示を加えるなど、改善を図る。	3	【市の評価】 患者動線や施設内表示に配慮ができていると評価する。 【指定管理者に対する意見】
	16	医療法をはじめとする関係法令などを遵守し、患者中心の医療の提供に努めているか(関連研修の実施など)	4	【令和6年度の実績について】 12月には伊丹健康福祉事務所による病院立入検査を受けたところ、特段の指摘事項もなく通過した。 また、持続可能な診療体制を確保するため、3月にNPO法人卒後臨床研修評価機構による審査を受審。臨床研修医の受入体制を充実させる取組を行った。 【令和7年度に向けて】 病院機能評価受審結果(8月)を受け、7年4月報告の中間評価による課題について取り組みを強化すると共に、2028年度の更新に向けて、安全で安心な医療の提供と質の向上を図る。	3	【市の評価】 病院機能評価受審の認定を受けることができている。 【指定管理者に対する意見】 評価結果を活用して、サービス向上に努めること。
	17	治療に関する説明などが、利用者に分かりやすい内容に改善できているか(同意書などの様式の見直しなど)	3	【令和6年度の実績について】 予約入院に関しては、クリニカルパスの運用を進め治療方針をわかりやすく掲示し、患者・家族の理解が進むよう取り組んでいる。 【令和7年度に向けて】 分かりやすい説明ができるよう、適宜見直しを行い、適切に実施していく。	3	【市の評価】 利用者への説明を適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	18	患者の待ち時間短縮に努めているか(受付、診療、検査、会計など)	3	【令和6年度の実績について】 ① ポケメド(モバイル診察券)、診療費後払いシステムの普及に向け、パンフレットの見直しを行った。 ② 待ち時間調査を実施し、職員間でフィードバックを行った。 【令和7年度に向けて】 ① 改訂版パンフレット、ホームページを活用し、上記システムの普及に努める。 ② 引き続き、待ち時間調査を行い短縮化に向けて取り組んでいく。	2	【市の評価】 待ち時間の短縮を目的としたシステムについては、周知が図られているものの、普及率が低く、期待する効果が得られていない。 【指定管理者に対する意見】 待ち時間の発生は避けられないものの、患者に待ち時間が生じる理由を丁寧に説明する仕組みを構築すること。
	19	患者・家族の意見を聞き、接遇などの改善に活用しているか また苦情等に適切に対応しているか	3	【令和6年度の実績について】 ① 毎週開催される患者サポート体制カンファレンスにおいてご意見、苦情などを集約し、重要なものは隔日の朝に開催される病院長連絡会議で情報共有を図った。 ② センター内には、「患者さま意見箱」や「ふれあいの箱」といったものを設置するとともに、その回答を院内やホームページに掲示し、職員の接遇をはじめとした苦情案件の改善に努めており、スタッフの対応など高評価の意見の割合が増加した。 【令和7年度に向けて】 適宜見直しを行い、適切に実施していく。	3	【市の評価】 医療サービス改善委員会を中心に、適切に対応している。 【指定管理者に対する意見】
	20	点字ブロックや窓口インターホンなどのバリアフリー設備を適切に運用し、障がいの内容に沿って声かけや案内をするなど、医療機関における障がい者への合理的配慮ができているか	3	【令和6年度の実績について】 ① 現行の設備を活用し、患者が利用しやすい備品配置等を心がけた。 ② 正面玄関に案内職員を配置し、車イス等で来院された患者の案内誘導を行った。 【令和7年度に向けて】 適宜見直しを行い、適切に実施していく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
2.職員に関する基本的要件	21	仕様書で定めた診療科・センターの機能を維持するために必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保はできているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 年度開始時は常勤医師96名と常勤看護職403名、全職種を合わせ870名で、前年度より充実した職員配置体制により医療の提供を行った。 ② 令和7年3月1日時点で、常勤医師は94名、常勤看護職は366名、全職種では825名の配置を行った。 【令和7年度に向けて】 ① 年度開始時は常勤医師112名と常勤看護職395名、全職種を合わせ904名の職員配置を行っており、引き続き人材確保に努めていく。 ② 医師については、4月から内科系(消化器、循環器、呼吸器、総合、糖尿病、腎臓)、外科系(乳腺、呼吸器、整形、形成、産科)それぞれの診療科に医師を増員しており、更なる医療サービスの向上に努めるとともに引き続き大学からの派遣の協力を求めている。看護師については、就職希望者の施設見学や中途採用の面談に随時対応するなど、積極的な人材確保に努めている。	4	【市の評価】 診療報酬改定にも対応し、大学医局の派遣協力依頼や途中採用等により、職員を確保している。 【指定管理者に対する意見】
	22	7対1の看護配置を維持できるよう看護師の負担軽減に取り組んでいるか(病棟医療クラークや看護補助者の拡充など)	4	【令和6年度の実績について】 介護福祉士養成機関と連携し、看護補助者(看護助手・介護福祉士等)の確保に努めた。常勤の看護補助者の確保が困難であることから、非常勤(パート、派遣)を年度開始時11名に対して令和7年3月1日時点で50名まで増員した。 【令和7年度に向けて】 引き続き看護補助者確保に努める。	4	【市の評価】 看護補助者を多く採用し、看護師の負担軽減に取り組んでいる。 【指定管理者に対する意見】
	23	医療情報技術や地域医療など、各分野に精通した職員の育成ができているか また研修や自己研鑽のための制度が整備できているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 院内研修に加え、法人教育委員会主催の研修制度も活用し職員の育成を行った。 ② 目標管理制度の適正な運用に努め、職員面談をしっかりと行い、モチベーション向上に努めた。 ③ 法人内においてグローバル研修を行い幅広く職員育成を行った。 【令和7年度に向けて】 人事評価制度の適正な運用に努め、職員のモチベーション向上に努める。	3	【市の評価】 研修目的として法人内病院間の人事異動も積極的に行われており、幅広く職員の育成ができていると評価している。 【指定管理者に対する意見】
	24	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組んでいるか また長時間労働の是正や非正規雇用の処遇改善、子育て支援など働き方改革に取り組んでいるか	3	【令和6年度の実績について】 ① 勤怠管理システムにより勤務時間の明確化、効率化を図り時間外勤務の縮小に努めるとともに、特定休暇を拡充することでワークライフバランスを推進した。 ② 時短勤務、パパ育休など、子育て支援制度を推進した。 ③ 限定付き正職員制度(夜勤・当直、土日祝勤務、人事異動の免除)を活用し、働き方改革を推進した。 【令和7年度に向けて】 引き続き、職員が安心して働き続けることができるよう、制度を利用しやすい職場環境づくりに努めるとともに、育児休業を取得しやすい雇用環境の整備のため職員向けの相談業務を実施する。	3	【市の評価】 長時間勤務については、開院時に比べて改善できている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
3.建物・設備・備品等管理	25	職員の福利厚生の上に努めているか	3	【令和6年度の実績について】 ① 卒後6年未満の看護師や研修医については、総合医療センター近隣の住宅を借り上げ、希望者は割安で入居できるよう手配した。 ② 保育所利用については法人関連保育園が利用できるように配慮している。 【令和7年度に向けて】 ① 引き続き、職員寮や保育園について対応を行っていく。 ② 職員交流を目的としたクラブ活動やイベントの開催を実施していく。	3	【市の評価】 看護師寮、保育園、駐車場の確保など、適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	26	施設及び設備の日常点検、保守及び法定点検の保守管理業務を行っているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	27	備品や医療機器は台帳を用いて適切に管理できているか また備品や医療機器の廃棄などの取扱いについては、市に報告しているか(指定管理者が購入したものは除く)	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	28	入院・外来患者及びその他の来院者の利便性向上のため、売店その他の施設、設備を設置運営しているか また第三者に設置運営させる場合は、基本協定書第13条(再委託の禁止)の手続きに準じ、市の承認を受けているか	3	【令和6年度の実績について】 ① 来院者のためにカフェの運営を実施しており、実施にあたっては基本協定に則り、市の承認を得ている。 ② 入院に必要な物品の販売について、カフェの一面を利用して実施している。 【令和7年度に向けて】 施設の利便性に係る利用者からの要望は多様となっているため、販売品目の充実に向けた方策を慎重に検討、実施していく。	2	【市の評価】 自販機を設置するなど、充実に努めている。 【指定管理者に対する意見】 売店の品揃えの拡充については、まだ望む声も多いことから、様々な方法を検討すること。
	29	来院者が安全に利用できるよう、来院者の安全確保及び誘導ができているか また駐車場や送迎バスなどの案内を適切に行っているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 正面玄関に複数の職員を配置し、対応している。 【指定管理者に対する意見】
	30	良好な衛生環境を保つために、日常清掃、定期清掃、及び使用頻度等に応じて特別な清掃を適切に行っているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	31	病院運営に係る廃棄物(ゴミ)、医療行為に関係して排出される医療廃棄物が適切に処分されているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	32	植栽の管理を適切に行い、病院の景観を良好に保っているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
4.情報管理	33	情報の機密性、完全性、可用性を確保し、維持しているか また情報管理に関する方針を明確にし、患者の個人情報・プライバシーを適切に保護しているか(研修の実施など)	3	【令和6年度の実績について】 令和6年10月に情報管理に関する研修を開催した。 【令和7年度に向けて】 ① 引き続き、研修を通じて職員の意識向上を図っていく。 ② 法人本部と連携し、サイバー攻撃等に対するセキュリティ対策に取り組んでいく。	3	【市の評価】 適切に運用している。 【指定管理者に対する意見】 法人本部を含む組織全体のネットワークセキュリティ対策を継続的に強化するとともに、情報セキュリティ研修をさらに充実させ、職員の意識の向上を図ること。
	34	市立総合医療センターの管理運営に係る収入及び収支の状況について、適切に帳簿に記載し証拠書類を保存しているか また本業務に係る文書を適切に管理し、指定期間終了後には、本業務に係る文書を市又は市が指定する者に引き継ぐことができる状態か	3	【令和6年度の実績について】 収支状況等の証拠書類等は、法人本部と連携し適切に保存管理している。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切な管理を行うとともに、保存期間の終了した書類について適切に廃棄処理を行う。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	35	市立総合医療センターの利用に係る料金は、病院使用条例に定める範囲内において、指定管理者の収入として適切に収受されているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
5.危機管理	36	川西市地域防災計画、川西市水防計画、川西市国民保護計画、新型インフルエンザ対策等における病院の役割を担っているか	3	【令和6年度の実績について】 ① 8月に看護協会の災害対応研修に参加した。 ② 11月に災害訓練(本部機能・トリアージ)を実施した。 【令和7年度に向けて】 川西市地域防災計画等について、市担当部局と協議を進め、センターの役割等について、整理や見直しを行っていく。 ② 災害訓練を実施し、有事の際の病院機能維持及び被災者の受入体制の強化を図っていく。 ③ BCPの見直しを行い、有事の際の体制強化を図っていく。	3	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】
	37	新興感染症等について県から感染者の受け入れ要請等があった場合は、公立病院として速やかに適切な医療を提供できる体制を整備できているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等の感染症重症例は積極的に受け入れ入院加療を行い公立病院としての役割を担った。 ② 近隣施設のクラスター発生時はラウンドと現場での感染対策への指導を行った。 ③ 感染対策に関する研修会をWEB、訪問で行った。 【令和7年度に向けて】 地域向けの感染対策研修の充実と情報発信を継続して実施するとともに災害時においても感染者の受入ができるよう備蓄の整備に取り組んでいく。	4	【市の評価】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も、引き続きコロナ患者を積極的に受入れている。 【指定管理者に対する意見】
	38	医療安全確保に向けた体制が確立しているか(ヒヤリハットレポート報告件数、医療事故報告件数など)	4	【令和6年度の実績について】 ① 専従の医療安全管理者を配置し、例月医療安全管理委員会を開催し、報告事例の共有と対応の協議などを行った。 ② 診療の現場から報告されるヒヤリハット(誤った医療行為などが患者に実施されるまでに発見された事例など)について、現場検証を実施し、部門間の調整を行い、業務の改善を図った。 ③ 医療センターインシデント報告件数は月平均239.4件。 ④ 全職員を対象に研修を実施した。 ⑤ インシデントレベル3b以上、重要事例について院内で事例検討会を開催し原因の究明、対策について話し合い事故防止を図った。 【令和7年度に向けて】 レポート提出や事故報告後の改善策を共有するシステムを作り、現場にフィードバックして医療安全文化の醸成を図る。 医療安全をチーム医療として支援していく体制を作る。	4	【市の評価】 適切に行っている。 【指定管理者に対する意見】

評価項目	NO	評価ポイント	指定管理者		市	
			自己評価	自己チェック	評価	コメント
6.報告・届出	39	施設基準や各種認定・指定など、適切に管理できているか また市へは提出一週間前の報告を順守しているか	3	【令和6年度の実績について】 適切に行った。	2	【市の評価】 施設基準や各種認定・指定などについては締切厳守されていたが、モニタリングや委員会等の資料提出について、締切が守られていないことがあった。
				【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。		【指定管理者に対する意見】 資料の提出期限を厳守すること。
7.情報発信	40	病院運営に関して地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、必要な情報を地域等へわかりやすく発信しているか(ホームページのアクセス数、広報紙の発刊数など) また、市民等を対象とした地域医療に対する啓発活動への取組みや市民講座などが適切に行われているか	4	【令和6年度の実績について】 ① 総合医療センターのホームページ閲覧件数は、月平均26,990件で5年度の29,784件を下回った。 ② 市民向けに、市民医療講演会(2回)、出張健康講座(1回)、市民医療講座(3回)を行った。 ③ 市広報誌「みらいふ」にて医療センターPR記事を掲載した。 ④ 総合医療センター広報紙「セセラギ」を年2回発刊した。 【令和7年度に向けて】 ① ホームページは、定期的な更新を行うとともに、閲覧の分析なども実施し、内容の充実を図る。 ② 病院パンフレット及び患者支援センターパンフレットを作成する。また、地域コミュニティへの参加などを通じ情報発信を行っていく。	3	【市の評価】 ホームページについては、内容が充実してきていると市民からの評価もあり、市民医療講演会などで情報発信に努めている。
				【指定管理者に対する意見】		
		41	掲示板などを用いて、診療科や担当医師の一覧等、患者にとって必要な情報を適切にアナウンスできているか	3	【令和6年度の実績について】 掲示板を増設する等、情報発信の充実を図った。 【令和7年度に向けて】 引き続き、適切に行っていく。	3
合計点数			142点 /164点		135点 /164点	

その他報告事項 (取組の詳細・方針など)	
-------------------------	--